

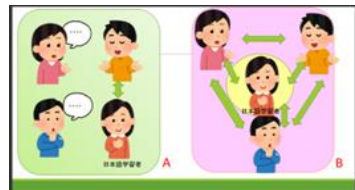


## 2022年度地域日本語教育推進モデル地域（緑区）事業 緑区日本語ボランティアブラッシュアップ研修

日本語教室体験「ようこそほんご@みどりく」

主催：緑区役所・(公財)横浜市国際交流協会

この講座は地域日本語教育推進モデル地域事業の3年目事業として開催しました。日本語学習者が増えている中、支援者が足りなくて学習者が待ちになっている状況を打破するために、昨年5月にみどり国際交流ラウンジで開催した日本語ボランティア入門講座の受講者を対象に研修の学びを生かし、地域日本語教室を体験することによって今後の交流や活動につなげられるように考えました。共通の目的として緑区近郊の人々が集い日本語での会話を楽しみ、今後の交流につなげる、支援者には実際の教室準備や進行について学ぶ機会を、学習者には生活で使う日本語を学び、日本語でできることが増え、話したい事を日本語で伝えられる機会をつくりました。



また、みどりプロジェクト（緑区内日本語教室関係者）のメンバーが打合せから教室運営、支援者の事前研修、日本語教室のプログラム作成まで全てに参加しました。みんなで支援者を育てることによって、緑区内の日本語支援の輪が広がり、地域に住む日本人との交流や活動につながるいいなと思いました。



### 研修

### 教室

講師

長嶺倫子さん  
横浜国立大学非常勤講師・YOKE日本語教室運営  
サポーター他

講師  
アシスタント

Thakshilla Senarath

日時

2023年2月3日(金) 9:30-11:30  
2月17日、3月3、10日(金) 9:30-12:45

場所

緑区市民活動支援センター「みどりーむ」大会議室

対象

支援者：みどりラウンジの日本語ボランティア  
入門講座受講者  
学習者：緑区内在住・在勤・在学の日本語学習者

参加者数

支援者 14人(のべ参加者数53人)  
学習者 6人(のべ参加者数10人)  
ベトナム1人、ネパール1人、中国2人、ウクライナ3人

#### 日本語教室に向けた事前研修

第1回 (2/3)	・入門講座振り返り
	・入門講座振り返りブラッシュアップ研修趣旨説明
	・第1回教室準備

#### 日本語教室「ようこそほんご@みどりく」

第2回 (2/17)	日本語教室(1)
	・自己紹介「話そう自分の事!」

第3回 (3/3)	日本語教室(2)
	・季節の行事

第4回 (3/10)	日本語教室(3)
	・防災かるた(緑区について知る)



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします！



## 2022年度地域日本語教育推進モデル地域（緑区）事業

### 緑区日本語ボランティアブラッシュアップ研修

#### 第1回 事前研修

第1回目は事前研修で13名の方が受講しました。8割の方が既に日本語教室で支援されている方でしたが、いつもは1対1で支援しているのでグループでやるのは初めてだと、最初は戸惑っていました。3つのグループに分かれて自己紹介から始め、それぞれのグループにみどりプロジェクトのメンバーが1人ずつ入り、自分の体験談やアドバイスをしていました。第2回目の日本語教室の準備では支援者それぞれがアイデアを出し合っ、「自分のことを話す」をテーマに様々なワークを考えていました。また外国人講師アシスタントの方が自分の日本語学習経験をもとに、支援者側が普段気づかないような学習者側目線でアドバイスをしていました。どのグループも日本語学習者さんの背景が見えない中で、様々な対処法を考えていました。

#### 第2回 日本語教室 「自己紹介」

第2回目は支援者14名、学習者6名が受講しました。初めはお互いに緊張していましたが、時間がたつにつれ、笑顔や笑い声が聞こえました。「自己紹介」をテーマに3つのグループに分かれて学習しました。0ビギナーの学習者は担当したことがなくて不安だと話していた支援者も、ポケットクや絵カードを駆使して会話を引き出し、「私は〇〇が好きです」という一文を使って「私はイチゴが好きです」と実際に買って来たイチゴのパックを見せる学習者や、桃のイラストを見せて「私は桃が好きです」と話す学習者もいました。どのグループも覚えた日本語を紙に書き、学習者に持ち帰ってもらって家でも復習してほしいと話していました。

#### 第3回 日本語教室 「季節の行事」

第3回目は支援者14名、学習者3名が受講しました。この日はちょうど雛祭りだったのでみなさん素敵なひな人形の写真を持ってきていました。雛祭りの説明の後、学習者の国の行事について話していました。中国の学習者は「お月見」、自分で月餅を手作りすると話していました。ベトナムの学習者は「テト」、自分で粽（米と豚肉と豆をバナナの葉っぱでつつんだもの）を作ると話していました。ウクライナの学習者は「女性の日」（女性にとってうれしい日）と「男性の日」（相手を大切に思っていることを伝える日）があると話していました。学習者が一生懸命日本語で伝えようとしている姿が印象的でした。

#### 第4回 日本語教室 「防災かるた」

第4回目は支援者12名、学習者1名でした。2つのグループではスタッフが日本語初級レベルの外国人学習者になり参加しました。4回目のテーマは「防災」でしたが、学習者は母国で地震を経験したことがないため、支援者が説明する場面が多くなってしまいました。学習者からは「実際に地震が起きたらどうすればいいかわからないので、今日の学習はとても勉強になった」と言っていました。支援者の中にもテーマは難しかったが、「かるた」やスマホを使用して画像から理解することも多く、遊びながら学べたのはよかったとの意見もありました。日本は地震大国なので、今日の学習が実際に役立てばいいなと思いました。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします！

